

WHO ファクトシート

電磁界と公衆衛生：携帯電話

Electromagnetic field and public health : mobile phones

ファクトシート No. 193

2014 年 10 月

重要な事実

- ・携帯電話の利用は、世界で 69 億回線の契約があると推計され、あらゆるところに普及している。
- ・携帯電話から生じる電磁界は、国際がん研究機関 IARC により、ヒトに対してがんを誘発する可能性があるとして分類されている。
- ・携帯電話の使用による長期的な影響について、より詳しく評価するための研究が進行中である。
- ・WHO は、電磁界曝露によって生じる健康への影響についての公式的なリスク評価を行い、2016 年までに公表することとしている。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分についての日本語版の翻訳権を WHO 事務局長より付与され、WHO 健康開発総合研究センター（WHO 神戸センター）の協力のもと作成したものです。日本語版に対する責任は全て日本 WHO 協会が負います。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Electromagnetic field and public health : mobile phones

ファクトシート原文は [こちら](#)